

# WEEKLY



ゴードンR.マッキナリー会長

酒井法丈ガバナー

山本雅久会長

RIテーマ

地区方針

クラブ方針

CREATE HOPE in the WORLD  
世界に希望を生み出そう

培おうプライド、育もうブランド、  
そして未来へ!!

輝こう! 豊橋ゴールデンロータリークラブ  
～我がクラブの志と共に～

第2回(通算1616回)例会報告	令和5年7月14日(金)	役員・理事挨拶
出席報告	総会員数56名(計算会員数51名) 欠席12名 出席率76.47% 前々回修正出席率87.76%	
歌/会場	それでこそロータリー	会場: ロワジュールホテル豊橋 2F「桜の間」12:30～

## 会長の時間

山本雅久会長



皆さん、こんにちは。本日の例会では、杉田和俊直前会長、本田英司会長エレクト、鬼頭秀幸プログラム委員長、石原聖季社会奉仕委員長、鈴木紳昭国際奉仕委員長、伊藤角栄青少年奉仕委員長の方々に今年度の会長方針

に沿った活動を発表していただきます。宜しくお願い致します。

ポリオワクチンについて少しお話させていただきます。ロータリーのポリオ撲滅のキャンペーンでポリオワクチンの開発者であるジョナス・ソーク氏は、『希望は、夢を実現のものにしたいと強く願う人たちの夢、想像力、そして勇気のなかにあります』とされています。

例会出席について: 35年前からチャーターメンバー45人の一人として今までロータリー活動を継続してきました。35年前の先輩方々からのご指導において、例会出席が一番大切であり最優先事項にすること、何があっても出席すること、と言われた覚えがあります。ロータリーが何であるかを理解する前に、例会で親睦をして友人を作り語り合える楽しいクラブの一メンバーとなることが大切と考えます。

## 入会記念日祝い

青木一臣会員



## ロータリーの友読みどころ

村松 光雑誌委員長



7月号「ロータリーの友」の読みどころをさせていただきます。まずは横組から4頁をご覧ください。23-24RI会長テーマ「Create Hope in the world 世界に希望を生み出そう」。

ロータリーとは、ロータリーの目的、四つのテストなど毎号掲載されております。活動に迷いを感じた時の道しるべとしたいと思います。7項・ゴードン R.マッキナリーRI会長のメッセージとなります。「ロータリーには自分の居場所がある」と思えるような場にする必要があると正に山本会長の方針と同じだと感じました。最後に「ロータリーの中に平和を築き、それを存分に広めていきましょう。帰属意識を育て、ロータリーの未来を新たに思い描きましょう。共に楽しく力を合わせて、世界に希望を生み出しましょう。」と締めくくられております。29頁・第2760地区酒井ガバナーが紹介されております。42頁・7月は母子の健康月間です。持続可能な母子の健康への取り組み事業として、高知東RCの地区補助金事業として「高知おむつバンク立上支援プロジェクト」が紹介されております。50頁・ROTARY AT WORKの記事で「フィリピンの子どもを感染症から守る」が取り上げられました。保永当時委員長、杉田直前、本多当時幹事、松島会員お疲れ様でした。とても誇らしいです。53頁・パズル de ロータリーになります。私自身もトライしましたが、全くわかりません。高IQの本多会員に是非解いて応募して欲しいと思います。「詰め碁」は岡本会員お願いいたします。59項・各種投稿方法が記載されております。多くの方に投稿いただければ幸いです。縦組み4頁をご覧ください。記憶に新しい12年前、郵便不正事件で冤罪であった村木厚子氏より「女性がより活躍できる組織・社会づくり」の記事となります。村木氏は「その分野で長年苦勞して、努力してきた土の人と、その分野のニューカマー、よそから来た風の人、新しい人が一緒になって、次の新しい風土が形成される。風の人として、女性の働き



を重ねていけば、日本社会が発展もするし、優しくもなると思います。」と言っています。14頁・俳壇、歌壇、柳壇です。取り上げられている作品を見ると傾向として同クラブの会員が投稿されています。当クラブも得な方がお見えでしたら、積極的に投稿ください。16頁・友愛の広場の記事として個人的に目を引いたものをご紹介します。

「アプリ導入で「困った」「ムダ」を一気に解決」。当クラブでは本年度よりLINEを利用し始めましたが、東京立川RCでは出席確認アプリを利用しているとのこと。出席確認のみならず、現在では電子マネーでニコボックス寄付、各種登録料支払いも対応しているとのこと。17頁・「うちの子」かわいいワンちゃんが紹介されていますが、こちらの投稿もペット好きな方は投稿してください。21頁・「私の一冊」読書好きの伊藤会員に投稿いただきたいです。22頁・「声」豊橋北RCの高坂氏の投稿があります。ロータリーの友に取り上げられた記事に対してのメールなど投稿いただくと幸いです。知っているようであまり知らない「ロータリーの友」ですが、当クラブも積極的に参画しクラブを盛り上げていきたいと思ひます。

会員スピーチ

「私が今まで育んできたこと」

「私が現在育んでいること」

「私がこれから育んでいきたいこと」



大須賀憲太会員

皆様、こんにちは。

今日は、私がこれまで大切にしてきたことについてお話ししたいと思います。

人生の経験を通じて、私が大切にしてきた価値観の一つは、人々との絆です。これは私にとって、力の源であり、支えであり、人生の喜びです。これは私の人生において最も重要な要素であり、人々との時間を大切にし、助け合い、支え合うことを常に心がけてきました。そして、友情や信頼は、私たちの人間関係を深め、幸福感をもたらすものです。私は友人や仲間との時間を大切にし、互いに支え合い、喜びや悲しみを共有することを大切にしてきました。

また、私はコミュニティへの貢献も重要な価値観として大切にしてきました。ロータリークラブに参加することで、私は地域社会に貢献する機会を得ました。ボランティア活動や地域のイベントへ、PTAへの参加等を通じて、私は他の人々とのつながりを築き、社会への貢献を果たすことができました。又業界での活動にも積極的に参加して職業を通じての社会貢献を実践しました。直近まで調停委員、教育委員などの公職を長期にわたり積極的に引き受け、特に教育の重要性は県の教育委員を経験して一層確信しました。幼児教育の重要性も含めて、人生は生涯学び続けることが大切です。現在は意識的に社会的な活動は減らし、同窓会活動を中心に活動しています。

最後に、これからも大切にしていきたい価値観として、

新しいこと、ものへの好奇心です。新しい知識を得ることは、人生を豊かにし、成長するための貴重な機会です。今後もAIをはじめとして、好きな自動車では、EVやFCVの車を体験し、完全自動運転のモビリティ社会で活動的な高齢者になりたいと思っています。

これらの価値観は私の人生を豊かにし、幸福感をもたらしてきました。私はこれまでの経験を通じて、これらの価値観を大切にし、実践することの重要性を学びました。私はこれからも、人々との絆を深め、コミュニティへの貢献を続け、学び続けることを心掛け、人々とのつながりを大切にしていきます。

最後に、私のスピーチをお聞きいただき、お時間を割いていただき、誠にありがとうございました。



西郷隆治会員

育むとは、鳥が羽根を広げて雛を包みこむしぐさから、生まれたそうです。

育てるとは、似ていますが、ちょっと意味が違うと思います。子供を育てる、動物を育てるよりもっと優しさ、包容力、愛を感じるのが育むことのように思ひます。

今日は、私の育んできたこと、これからも育んでゆきたいことについて少しお話しします。

私は当年として年齢81才です。残された時間も少ない。

これから何をやりたいか？決めておきたい。

身体が第一

人間は体が資本です。先ず健康であることが基本です。たとえお金があっても、病気や、目先に深い悩みがあれば何もできません。

私は体力維持のため、4年前から毎朝5時から2時間程、運動を続けています。

1日平均12,000歩以上歩きます。その内、ストレッチと駆け足1.6kmも入れます。運動を始めて1年が過ぎる頃になって、体重が減りはじめ、現在はピークの68kgから5kg程度減減っています。

身体が慣れてきたのでしょうか。以前より体が軽く感じます。以前より食欲も増し、栄養価の高い美味しい食事を楽しんでいます。

育んできたもの

会社としては、29歳で父が亡くなり、会社を引き継ぎ、40歳くらいまで土日何も無く、率先垂範で働きました。幸い、社業は拡大しました。そして少しずつ地域社会の皆様との交流や趣味も、チャンネルを広げ、充実した生活を享受することができました。

仕事の他に社会福祉法人の役を仰せつかり、17年間努めました。ハンディキャップを持った子供達との触れ合いは大変勉強になりました。

①音楽

育んできたものは、仕事の他では趣味としては音楽です。



青年会議所に入会し文化委員長時代にベートーヴェンの第九交響曲を市民の皆様を募集して演奏会を開催した体験から、音楽活動に手を染めました。豊橋で初めての市民参加の第九でした。以来多くの演奏会の企画に関係します。合唱団の創設や蒲郡のオペラ「カルメン」に参加して、オペラの魅力に取りつかれました。そして三河の市民の皆様を募集して、今まで5回の演奏会をやって参りました。当クラブの創立20周年記念事業として、「オペラ・カルメン」はその流れです。今年の5月の演奏会・オペラ「アンドレア・シェニエ」には皆様のご支援のお蔭をもちまして、7000万円予算でしたが、収支はなんとか合い、ほっとしているところです。今回は若い世代の委員が頑張ってくれ、オペラの世代交代のメドもたちました。

## ②スキー

50才になってから始めたスキーは私の冬の最高の楽しみです。

今はスキーSAJ2級検定合格に向かって、取組んでいます。スキーは、以前皆様に申上げましたように、ゆっくり滑れば日本舞踊。アグレッシブに滑れば短距離を全力疾走したくらい、息が上がるところが魅力です。

生涯スポーツの最たるものです。今のスキーはカービングスキーの時代ですが、ターン初めのズラシと後半のキレのバランス、それと両足のスタンスを狭くするのが私の課題です。昨シーズンは鈴木雅人さんとスキーを楽しみました。

## ③魚釣り

ハゼ釣りから、太刀魚、アジ、イサキ、鯛、ヒラメ、ブリの様な大物狙いの船釣りを中心にやります。大物が釣れると心臓の鼓動が高鳴ります。強烈な引きは竿が折れるほどです。釣は奥が深く、心身ともにハードなスポーツです。個人的には山登りより疲れる。だから面白い。豊橋5ロータリーでの趣味の会、釣天狗クラブは今会員数20名以上で楽しんでます。

## ④山歩き、街道歩き

以前は高山から低山まで積極的にやっていましたが、最近は街道歩きをやってます。今年の6月で中山道六十九次を踏破。ゴールは江戸、日本橋。中山道では、碓氷峠の下りでヤマビルに襲撃されたり、和田峠の雪中行軍もあり、温泉もありで、これも面白い。

旅程は通常1泊2日コースを毎月1回続けます。

7月からは新たに伊勢本街道歩きに取り掛かります。歩くだけだからそんなにハードではありません。1日当たりの歩行距離は15kmから25km。しかし夏は酷暑だけに無理をしないでいきたい。江戸時代の旅人は1日平均35km~40km歩いたそうですが、とても信じられません。

## ⑤国内・海外自動車旅行

学生時代にアメリカ・カナダ・メキシコ（北米大陸）自動車遠征を企画した。動機は、物心がついてから、どうして

もアメリカに住んでみたかったから、。この時の実り豊かな体験が私を成長させました。大学時代、ESS英語を身に付けておいてよかったです。

10年程前、女房と1ヶ月間ヨーロッパをレンタカー旅行（ドイツ、オーストリア、イタリア、スイス）に行ったのも、青春時代のノスタルジーを求めたかったからです。

何時までたっても、中村八大の歌謡曲「遠くへ行きたい」の歌詞のように、知らない街を歩いて見たい。どこか遠くへ行きたい、の感じです。海外旅行は大学時代の英語が役に立っています。

これからはニュージーランドか再度ヨーロッパか日本全国をドライブしてみるつもりです。

## ⑥家庭

子供達や孫との触れ合いを大切にしています。孫は小学生までがふれあいのチャンス。

中学生になると訪ねて来なくなるそう。孫との触れ合いは楽しい。しかし、孫べったりではなく、自分が何をやりたいかの方が切実な問題です。

## 自分の生き様を確かめる

自分が本当に、何をやりたいか？真剣に考える。すると本当にやって見たいことは見えてくる。これが自分自身を育むことにつながる。

何といても、健康が第一です。基礎体力を維持しながら、本当にやりたいことを体験したい。

日本だけでなく世界を巡り、そこで出会う新しい人との触れ合いを楽しみたい。若い時に受けた恩をお返しする心で人との出会いを大切にしながら残りの人生を育みたいです。

## 役員・理事挨拶

### 杉田和俊直前会長



皆さんこんにちは。先週の第一例会にて、ラベルボタンの交換を致しました。そして初例会での山本会長始め新役員・理事の皆さんの力強いご挨拶をお聞きして、いよいよ新年度の始まりを感じています。本日も私の後には、

頼もしい新役員・理事のみなさんからのご挨拶があるかと思っております。しっかりと聞かせて頂きたいと思っております。改めまして、本年度は直前会長を務めます杉田です。どうぞよろしくお願ひ致します。まずはこの場をお借りして昨年度の御礼から入らせて頂きます。長いようであつという間に過ぎ去ってしまった昨年度。心配されました、コロナ禍による影響はほぼ無く、皆様のご協力のもと、大過なく一年を終えることが出来ました。これも一重に、昨年度の役員・理事の皆様、各委員長の皆様の献身的な活動に支えられ、成し遂げることが出来たと思っております。ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。有難うございました。

さて、早速ですが、直前会長としてのご挨拶をさせて頂



きます。直前会長の役目については、クラブ細則によると「直前会長は、前年度の活動の成果や懸案事項などの情報を提供すると共に、理事会のメンバーとしての任務及びその他会長または理事会によって定められる任務を行うものとする。」と明記されております。まずは、昨年度一年間のクラブ運営をさせて頂いた経験を活かし、理事会において本年度の活動に何かアドバイス出来ることがあればさせて頂きたいと考えております。

また、クラブ計画書 2 頁、委員会構成の下段、〈プロジェクトチーム〉欄をご覧いただければお分かりのように、クラブ創立 35 周年において二つの記念事業を行うことが決まっております。

一つ目は、「35 周年 記録誌プロジェクト」で、2019-20 年度の真野会長年度から本年度の山本会長年度までの 5 年間の活動を記録誌として残すことを目的とする事業です。こちらは、飯野会員を中心にプロジェクトチームが組織されております。

二つ目は「35 周年 ホームページリニューアルプロジェクト」です。2000 年に開設した当クラブのホームページですが、開設以降これまで 23 年間バージョンアップされておられません。会員のクラブ運営と情報発信の更なる利便性の向上のため、時代の流れに沿ったシステムや機能の充実を図り、更新作業の効率化と情報発信のツールとなるホームページのリニューアルを目的とする事業です。

私としては、会長を終えて少しは楽をさせて頂けるのかと思っておりましたが、なかなかそうとはいかず、この二つ目の、ホームページリニューアルプロジェクトチームのリーダーを小生がするようにと幹事及び理事会より申し受けております。会長という重責から解放され、脱力感満載ではありますが、今一度緩みかけたネジを巻き直しながら、粒々辛苦の姿勢で取り組みますので、皆様のご支援ご協力をお願い致します。

そして最後に、クラブ方針『輝こう！豊橋ゴールデンロータリークラブ』を掲げ、クラブの志と共に本年度は動き出しました。そして奉仕の理想を目指して、会員全員が一致団結して記念すべき創立 35 周年の年度を盛り上げようとしています。そのためにも山本会長には一年間、健康管理には十分に気を付けて頂き、職責を全うして頂きたいと思っております。制度上では、会長の欠員は直前会長が補填するとなっておりますが、これ以上私の出番は結構ですので、何卒宜しくご配慮頂きますことを付け加え、直前会長の挨拶とさせていただきます。



## 本多英司会長エレクト

皆さんこんにちは。本年度「会長エレクト」を務めさせていただく本多英司です。気が付けば、入会させていただいて、もう 15 年目になります。

入会当時は「会長ノミニー」とか「会長エレクト」とか、耳になじみのない役職を聞いて、あまりよく理解していなかったのですが、ここ数年必要に迫られ急速に理解するようになってきました。

手続きは省略しますが、「会長ノミニー」に選任されると、翌年「会長エレクト」となり、その翌年「会長」を務め、さらにその翌年「直前会長」となり、その 3 年間は、理事会に籍を置き、クラブ運営に携わる役職となります。

私の場合は、昨年度（といっても今年の）3 月 31 日の臨時総会で、当時「クラブ幹事」の時に「会長ノミニー」に選任していただき、「クラブ幹事」兼「会長ノミニー」となりました。ですので、今年度は「会長エレクト」を、そして来年度は、不測の事態がなければ（もちろん品行方正に努めますが）、「クラブ会長」を務めさせていただき、再来年度は「直前会長」となります。

昨年度（といっても 2 週間前まで）は「クラブ幹事」として、皆様のご協力のもと、理事会の運営をさせていただきました。前々年度は「プログラム委員長」として理事会でプログラムを担当させていただきました。

ということは、ふと気がつく、前々年度から数えて、5 年連続で理事会に籍を置かせていただくことになるわけです。

そしてさらに冷静に考えると、今まだ折り返し地点にすら来ておりません。最後まで心と体がもつかどうか心配ではありますが、これも「与えられた試練」、ではなく、「与えていただいたチャンス」、と前向きにとらえ、微力ではありますが、クラブのために尽力してまいりたいと考えております。

さて、私の事情はさておき、今年度「会長エレクト」としての役割についてお話させていただきます。

今年度 1 年間、理事会の一員として山本会長が掲げられたクラブ方針『輝こう！豊橋ゴールデンロータリークラブ～我がクラブの志とともに～』を実現できるように活動しながら、「会長エレクト」として、それがどのように実現されていくかというプロセスを学び、来るべく自分の年度に繋げていき、我が豊橋ゴールデンロータリークラブが更なる発展をしていけるように活動することが、私の役割であると思っています。

但し、「1 年かけて」とはいつても、実際には、例年通りであるすると、約 3 か月後の 10 月頃に「指名委員会」が開催され、私の次の会長となる「会長ノミニー」の指名があります。そしてそれを皮切りに、来年度の役員理事の選出をし、新しい予備理事会が発足され、次年度の準備がはじまっていきます。

それと並行して、RLI 研修 3 回、PETS と呼ばれる会長エレクト研修セミナー等々、クラブ運営に必要な知識を学ばせていただく機会も与えられ、これまで以上にロータリーを学んでいく必要があります。

考えただけでめまいがしそうな 1 年となりそうですが、まずは今年度理事会の一員として山本会長・高井幹事を支え、そして来年度幹事予定者で、とても頼りになる鬼頭会員と、しっかりと、ひざを突き合わせて、よく話し合っ、連係をとって、準備をしていきたいと思っております。

1 年間、どうぞよろしく願いいたします。



**鬼頭秀幸プログラム委員長**

皆様、こんにちは、今年度プログラム委員長を務めることになった、鬼頭秀幸です。お手元のクラブ計画書 28 ページをごらんください。基本方針と活動計画を書かせていただきましたが、例年と大きく変わるということはないかと思

います。

主に司会進行役ということで、プログラム作成から始まり、時間通りに例会を進めることで、スムーズかつ皆さんがストレスを感じない時間をつくるのが最も重要な任務と理解しております。実は私、入会して3年目にプログラムの副委員長をやらさせていただきました。1回だけ司会をやったこともあります。その時の委員長が福沢会員でして、そこで学んだ与えられた時間の使い方や考え方が、私の中ではとてもインパクトがあり、それまでの自分の感覚をより良い感覚へ成長させるきっかけともなり、現に少し、成長することができたのではないかと考えています。

あれから10年近くたってはいますが、その経験を活かして、今年度のプログラム委員長の任務を遂行していこうと思

います。少し今年度のプログラムで変わったところは、スピーチ内容にテーマを付けたとこだと思います。

35周年という節目の年でもありますし、多様性に富んだ豊橋ゴールドデンロータリー会員から、聞きたいテーマを選択させていただきました。今日も既に大須賀憲太会員と西郷隆治会員がスピーチしていただきましたが、各会員が、今まで育んできたことを聞いてみたり、現在育んでいること、そしてこれから育んでいきたいと思っていることを聞いて、会員一人ひとりの刺激となり、成長にも繋がり、また会員相互の親睦も図ることが狙いであり、是非、皆様、スピーチの順番が回って来た時は、難しく考えず、喜楽にリラックスして楽しんで、お話して頂けたらいいかと思

います。1つだけお願いと皆様へは、事前にご了承していただきたいことがあります。今回のスピーチは、名簿順にロータリー歴の古い方から順に、事前連絡の上、選考させていただいています。本人の承諾を得て、日程も確定しますので、できるだけ参加してほしいと思います。とはいえ様々な事情で不参加の場合もありかと思

います。その場合には、私の勝手なスピーチや、高井幹事の面白いかどうかわからないスピーチか会長の1週間の出来事みたいなスピーチで、皆さんの期待と違うことで時間を繋ぐ予定です。そこらへんを皆様の寛容な気持ちで温かく見守っていただけたら幸いです。結びに、山本会長は楽しい例会と奉仕活動の大切にしたいとクラブ方針に書かれています。楽しくするには、自らが楽しまないといけないと思



**石原聖季社会奉仕委員長**

本年度、社会奉仕委員会の委員長を務めさせていただきます石原聖季と申します。宜しく願い致します。入会して4年目ですが、リモート期間もあり、当時は画面越しに委員長の皆さん

の姿を見て、まだまだ先の話で他人事として聞いておりました。最近、会場に足を運ぶことになり、委員長さんの大変な姿を見て、「やべえ！」と思

いながら今日ここに立っております。過去の自分に反省しつつ、過去の委員長の皆さんに敬意を払いつつ、会長幹事の思いを付度して一年間努めて参ります。クラブ計画書の39ページをご確認ください。基本方針をご覧ください。ちょうど100年前の1923年に社会奉仕に関する声明が国際大会で採択されました。その声明の冒頭には「ロータリーにおいて社会奉仕とは、ロータリアンのすべてがその個人生活、事業生活、および社会生活に奉仕の理念を適用することを奨励、育成することである。」と記載されているのをネットで検索して知りました。100年という時を経ても、対象はロータリアンであり、そのミッションはこの地域社会や環境に対する課題を共に知り、解決に向けて共に行動することであると考

えます。本年度の社会奉仕委員会はクラブ方針「輝こう！豊橋ゴールドデンクラブ ～我がクラブの志と共に～」のもと、昨年来の社会奉仕の取り組みを更に進め、地域で活動する団体とも連携し、この地域社会や環境に対する課題について、より多くの方に知ってもら

う機会を作っていきたいと思

います。活動計画としましては先日会長のお話により社会奉仕についての予告編がモザイク無しで流出しましたが、一旦皆さんの記憶から削除して頂ければと思

います。こちらからは今お伝えができることのみ正確にお話をさせていただきます。まず、10月20日には社会奉仕担当例会として、他の地域におけるRCCの取り組み事例を深く知り、本クラブでの可能性を考える機会を作ります。次に既に採択された地区補助金を活用し11月5日に昨年の取り組みを一步進めた事業を実施いたします。また、2024年の3月8日に環境保全例会として、この地域における環境保全活動とその課題について、共に知る機会を作りたいと思

います。本日1回目の委員会を行いました。参加は少人数となりました。メンバーとしましては副委員長に青山会員、委員に市川会員、宮川喜朗会員、大林会員、金子会員、岸会員、鈴木雅人会員ということで諸事情により少数精鋭で進めて参ります。高井幹事におかれましては新入会員が入会された折には補充して頂



して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



鈴木紳昭国際奉仕委員長

クラブ計画書の40ページをご覧ください。

活動計画の4番目の「クラブ内で海外進出をされている会員の人脉やネットワークを活用し国際理解、親善、

平和、交流を深める活動をします。」を詳しく説明します。

約3年間に及んだ新型コロナウイルスの影響が落ち着きようやく海外の行き来が自由になりました。日本にも毎日、多くの外国人が来日しています。また、多くの日本人が海外に渡航しています。私も、今年になってから5回ほど海外に出張していて来月の8月、続いて9月、10月に渡航を予定しています。

令和4年の6月現在、出入国在留管理庁が発表した数字ですと、日本には約296万人の外国人が在留しています。また、愛知県においては、約26万5千人の外国人が在留していて、都道府県別ですと東京都について2番目です。豊橋市では、約1万8千人。名古屋市について愛知県では2番目に多い外国人が在留しています。今後、日本は人手不足で外国人の方たちが増加していくと思いますが、在留外国人の内訳は、技能実習生や特定技能、高度人材、海外企業や現地日本企業のサラリーマンなどです。

特に多いのは、技能実習生です。彼らたちは、日本語や文化を一生懸命勉強して来日しています。円安が進んでいますが日本は、まだまだ魅力のある国だと思います。

私は、外国人人材を日本企業に紹介するお手伝いをしていきますが、技能実習生などを受け入れる企業も相手国の文化や風習を勉強して色々な面で理解する必要があると思います。

さて、クラブ計画書の21ページをご覧ください。当委員会の担当例会ですが、2024年の2月9日「国際奉仕担当例会」に続いて2月16日にフォーラムが予定されています。有意義なフォーラムを開催したいと思います。

続いて前年同様に2024年3月頃には、海外で国際奉仕事業を実施の計画を考えています。そして、可能であれば海外での国際奉仕事業の報告例会の実施をしたいです。

また、3月頃の海外での国際奉仕事業のために、海外で

活躍している講師をお呼びして、2月の担当例会に海外奉仕事業に関連した内容の卓話を実施したいと思います。

前年度の保永国際奉仕委員長の意思を受け継いで海外での国際奉仕事業をクラブ方針「輝こう！豊橋ゴールデンロータリークラブ～我がクラブの志と共に～」を実行するために一生懸命、且つ楽しく事業を実施していきますので会員の皆様、よろしくお願い致します。

以上です。ありがとうございました。



伊藤角栄青少年奉仕委員長

＜基本方針＞

青少年奉仕は、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。

クラブ方針「輝こう！豊橋ゴールデンロータリークラブ～我がクラブの志と共に～」のもと、地域社会への思いやりを学び楽しい例会と楽しい奉仕活動を大切に、心豊かな住みよい社会づくりのための一助となるため、地域社会の人々の理解を深めるよう奉仕の実践をまいります。

＜活動計画＞

1. 奉仕の心を楽しく学ぶ委員会運営をまいります。
2. 担当例会において、次世代のリーダー育成につながるフォーラム・例会を開催します。
3. ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)の受講者を広く募集し、実際に参加した受講者より体感報告例会を実施します。

ローターアクトとは

年齢が18歳以上の青年男女のためのロータリークラブ提唱する奉仕クラブで以前は30歳までの年齢制限があったが2019年10月の国際ロータリー理事会において年齢制限が撤廃されている。

インターアクトクラブとは

12歳から18歳までの青少年または高校生のための社会奉仕クラブである。日本においては高校生の福祉ボランティア系のクラブ活動・サークルとしておかれることが一般的であるが、高校に属さない「地域クラブ」として活動するクラブもある。

★ニコボックス

山本雅久・高井龍雄：本日も役員・理事挨拶です。皆さんの計画を聞いて下さい。よろしくお願ひ。

青木一臣：入会記念日をお祝い頂き。

村松 光：ロータリーの友読みどころを担当します。ハリキッていきます！

大須賀憲太・西郷隆治：会員スピーチをさせて頂き。

杉田和俊・本多英司・

鬼頭秀幸・伊藤角栄・

石原聖季・鈴木紳昭：役員・理事挨拶をさせて頂き。

太田和彦：ニコボックスを前年度同様よろしくお願い。

牧 岳大：息子がのんほいパークの写生大会で入選しました。

鵜殿健次：本年度もたくさんの愛をよろしくお願い。

鵜殿健次ニコボックス委員

★幹事報告

・国際大会(シンガポール)ガバナーナイトのご案内、ハイライトよねやまが届いております。

★他クラブの例会変更

■7月25日(火) 豊橋北RC 納涼例会

■7月28日(金) 蒲 郡RC 蒲郡まつり花火大会

■8月1日(火) 宝 飯RC 納涼例会